

アムンディ・マーケットレポート

ブラジルの2019年4-6月期 GDP～今後の市場展望

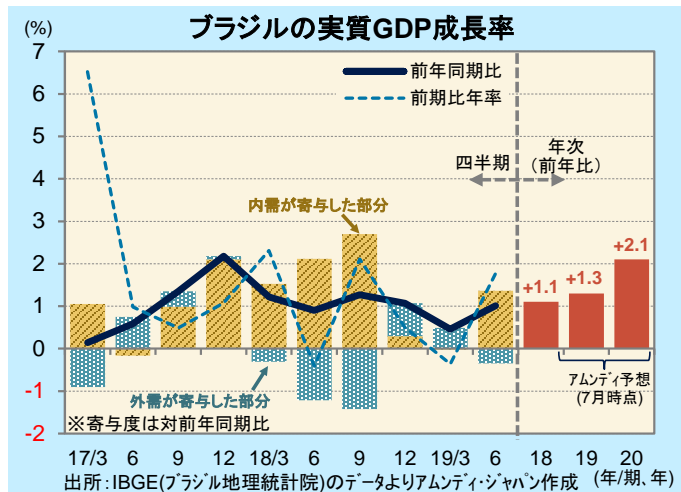
- ① 実質 GDP は前年同期比+1.0%、前期比年率+1.8%と回復しました。内需の回復が主導しました。
- ② 2019年も+1%台の低成長が続くものの、今後は金融緩和の効果で成長率は上向くと見込まれます。
- ③ 年金改革の成立が近付いています。構造改革の進捗は国の信用を高め、投資妙味を高めると考えます。

年後半は回復へ

8月29日、IBGE(ブラジル地理統計院)が2019年4-6月期実質GDPを発表し、前年同期比+1.0%、前期比年率+1.8%と回復しました。前期比は1-3月期のマイナスからプラスに転じました。

実質GDP成長率(前年同期比)に対する寄与度では、内需中心に回復が見られました。個人消費は前期の+0.9%から+1.1%へ、固定資本投資は同じく+0.1%から+0.9%へいずれも回復し、内需主導で成長率を押し上げた形です。

外需はマイナス寄与ですが、輸入が前年同期比+4.7%と、前期の同-2.5%からプラスに転じたことが影響しました。内需回復と在庫削減の進捗が輸入の押し上げ要因になったと見られます。



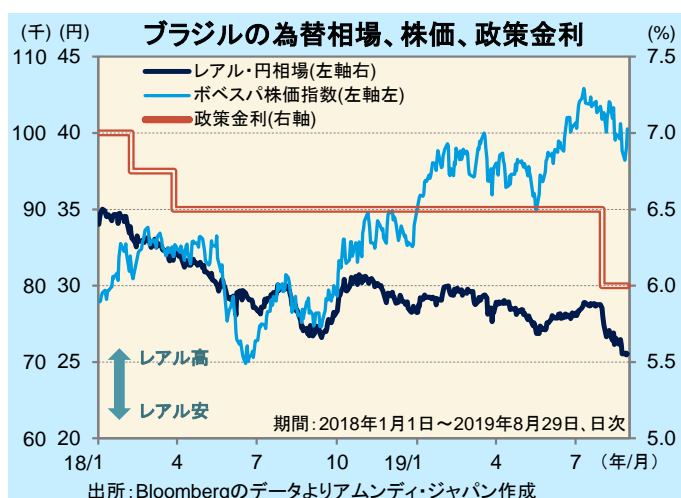
アムンディでは、2019年の実質GDP成長率を+1.3%と予想しています。年前半の成長率が+0.7%にとどまったことが影響しています。一方、ブラジル中央銀行が7月31日に利下げに踏みきったことで、年後半は金融緩和の景気刺激効果による、成長率の押し上げが期待されます。

改革進捗と金融緩和が投資妙味高める

夏場のブラジル金融市場は政治リスクに振り回される展開となっています。8月初めに米政府が対中輸入の追加関税を表明したことから、投資家のリスク回避指向が強まり、新興国通貨全般が売り込まれた一環でレアルも下落しました。7月末時点で1レアル28円台半ばで底堅く推移していたものの、現在は25円台半ばと10%以上下落しています。

一方、年金改革法案が8月7日に下院を通過し、9月にも成立すると見込まれます。

今後、税制改革、国営企業改革なども推進される方向にあります。これらの改革が進捗すると、ブラジル経済のネックであったインフレ体質の改善につながり、国の信用を高めると期待されます。金融緩和による景気刺激効果も合わせ、中長期的な投資妙味が増していると考えています。



本資料のご利用に当たっての注意事項等

本資料は、アムンディ・ジャパン株式会社が投資家の皆さまに情報提供を行う目的で作成したものです。
本資料は、本資料に含まれるいかなる金融商品の販売や媒介を意図、または購入あるいは売却を勧誘する目的で作成されたものではありません。
本資料は法令に基づく開示資料ではありません。

投資信託に係る費用について

投資信託では、一般的に次の手数料・費用をご負担いただきます。その料率は投資信託によって異なります。さらに、下記以外の手数料・費用をご負担いただく場合、一部の手数料・費用をご負担いただかない場合もあります。詳細は、投資信託説明書(交付目論見書)・契約締結前交付書面をご覧ください。または、販売会社へお問い合わせください(カッコ内には、アムンディ・ジャパン株式会社が設定・運用する公募投資信託のうち、最も高い料率を記載しています。)

投資信託の購入時: 購入時手数料[最高料率3.78%(税込)]

投資信託の換金時: 信託財産留保額[最高料率0.3%]

投資信託の保有時: 運用管理費用(信託報酬)[実質最高料率2.2312%(税込)]、監査費用

運用管理費用(信託報酬)、監査費用は、信託財産の中から日々控除され、間接的に投資者の負担となります。その他に有価証券売買時の売買委託手数料、外貨建資産の保管費用、信託財産における租税費用等を間接的にご負担いただきます。また、他の投資信託へ投資する投資信託の場合には、当該投資信託において上記の手数料・費用が掛かることがあります。

※上記の費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

本資料は、特定のお客様の特定の投資目的および財務状況または要望を考慮して作成されたものではありません。

本資料に記載した弊社の見通し、予測、意見等(以下、見通し等)は、本資料作成日現在のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、見通し等や過去の運用実績を含むいかなる内容も、将来の投資収益等を示唆または保証するものではありません。

本資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性、完全性について保証するものではありません。

本資料に記載されている内容は、全て本資料作成日以前のものであり、今後予告なしに変更される可能性があります。

弊社は、本資料に含まれる情報から生じるいかなる責務(直接的、間接的を問わず)を負うものではありません。

弊社の許可なく、本資料を複製または再配布することはできません。

リスクについて

・金融商品等の投資にあたっては、市場動向等、また投資信託等へ投資する場合にはその裏づけとなっている金融商品等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

・金融商品等の発行者または保証会社等の業務や財産の状況に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者または保証会社の業務や財産の状況に変化が生じた場合、金融商品等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

・デリバティブ取引においては、預託した証拠金を担保として、証拠金を上回る多額の取引を行うことがありますので、相場の変動の要因等により生じた損失の額が証拠金の額を上回る(元本超過損が生じる)ことがあります。

投資した資産価値の減少を含むリスクは、投資信託を購入のお客様が負うこととなります。

投資信託は預金、保険ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関を通じて購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象とはなりません。

お申込みの際は、投資信託説明書(交付目論見書)・目論見書補完書面等をお渡しますので、必ず内容をご確認のうえご自身でご判断ください。

販売会社店頭へ投資信託説明書(交付目論見書)をご用意してあります。

投資信託のお取引に関しては、クーリング・オフの適用はありません。

アムンディ・ジャパン株式会社

金融商品取引業者: 関東財務局長(金商)第350号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

<R1908114>